

# ゴトビキ岩

「ゴトビキいわ」  
約1400万年前の激しい火山活動で巨大な熊野カルデラが生まれ、その時に生じた火成岩体が風化してきた巨岩。神倉山に鎮座し、熊野速玉大社の飛地境内摂社である神倉神社の御神体として崇められている。ゴトビキとはヒキガールを意味する方言。



**南紀熊野ジオパークとは**  
プレートの沈み込みに伴って生み出された3種類の大谷。それらが作る独特の景観や温暖湿潤な気候がもたらす多種多様な動植物。そしてそこから生まれた熊野信仰や筏流しなど、数多くの優れた自然や文化を体感できる場所。